

排水対策を徹底して出芽・ 苗立ちを確保しましょう

長岡農業普及指導センター

大豆情報 No. 1

代表電話：0258-38-2557

E-mail : ngt111440@pref.niigata.lg.jp

令和6年度目標

収量：220kg/10a (特定加工用大豆合格以上)

品質：2等級以上比率 60%

エンレイの2等級以上比率：20%

1. 排水対策 ～最も大切な技術です！～

- (1) 排水対策は、大豆作に好適なほ場条件を確保するための基本であり、最も大切な技術です。
- (2) 弾丸暗きよや周囲明きよは、早期に施工しましょう。
 - ・周囲明きよの深さは、30～40cmを確保しましょう。
 - ・排水口は明きよより掘り下げましょう。
 - ・周囲明きよは排水口に必ず連結しましょう。
- (3) 大雨等の前後にはほ場を点検し、明きよの崩れた箇所を直しましょう。



排水口

2. 基肥 ～初期生育の確保で収量増をねらいましょう～

窒素成分は、根粒菌が働くまで（は種後30～40日）のつなぎとして重要です。基肥は下表をめやすに施用しましょう。

水田転換畑の土壌 pH は、土質や石灰質資材の施用履歴によって異なるものの、概ね 5.1～5.5 の範囲です。大豆栽培の目標 pH6.0～6.5 に改善するため、石灰質資材を必ず散布しましょう。

【施肥のめやす】

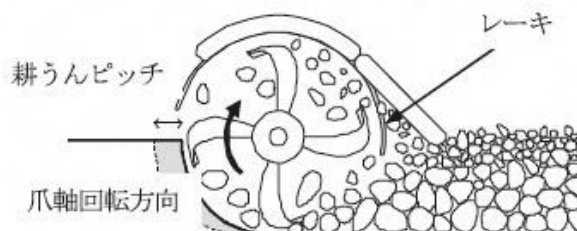
| | 成分量 (10a 当たり) | 肥料例 (施用量 (10a 当たり)) |
|-----|----------------|------------------------|
| 窒素 | 1.5～2.5 kg | ニュー大豆 800 (20～30 kg) |
| リン酸 | 6.0～8.0 kg | 有機入り大豆配合 2号 (20～30 kg) |
| カリ | 6.0～8.0 kg | ワンタッチ大豆 (全量基肥 40kg) |
| 石灰 | pH 目標値 6.0～6.5 | マグクリーン (60～80kg) |

3. 耕うん・砕土 ～砕土率の目標は70%以上です～

(1) 耕うん・砕土は丁寧に行いましょう。砕土が不十分だと出芽揃いが悪くなるだけでなく、除草剤の効果が低下します。

(2) 砕土率（2cm以下の土塊の重量割合）70%以上が目標です。

- ・排水対策により、ほ場を十分に乾かしてから作業しましょう。
- ・作業速度を遅くして、土塊が細くなるように作業しましょう。



アップカットロータリーによる耕うん

特に1回目で砕土率70%以上を確保するように丁寧に作業しましょう（1回目が粗いと、その後耕うん作業を重ねても、なかなか砕土率が向上しません）。

- ・アップカット（逆転）ロータリーを用いましょう（細かい土が表層に集積し、砕土率が高まる）。

4. は種 ～耕起直後に畝立ては種で！～

(1) 紫斑病・アブラムシ類対策として、塗沫処理による種子消毒を必ず実施しましょう。

(2) 畝立ては種は、湿害の回避に有効で苗立数が安定します（畝の高さは10cmが目安）。

(3) は種時期に応じては種量を調整し、適正苗立数を確保しましょう。

- ・は種時期が遅くなるほど、は種量を多くしましょう。
- ・は種深は表面から3～4cm程度とし、ほ場が乾燥気味の場合はやや深めに、土壌水分が高い場合はやや浅めにしましょう。

【畝立ては種の目安】

| | は種時期 | 目標苗立数 | は種量※ |
|----------|-----------|----------------------|----------------|
| エンレイ（単作） | 5/25～6/10 | 10本/m ² | 4.0 kg/10a |
| エンレイ（麦跡） | 6/20頃 | 18本/m ² | 7.2 kg/10a |
| 里のほほえみ | 6/1～6/15 | 9～18本/m ² | 4.0～8.0 kg/10a |

※苗立率85%、百粒重：エンレイ34g、里のほほえみ38gとして算出

【平まきでの種目安】畝立ては種に比べて、は種量を1割程度多くしましょう。

5. 除草剤の使用 ～適正に使用しましょう～

は種後、すぐに土壌処理除草剤を散布しましょう。

<農薬使用の注意事項>

- 農薬を使用する際は使用方法、注意事項を必ず確認し、自己の責任において使用する。
- 農薬散布時は周辺への飛散、使用者自身の安全に十分注意する。
- 農薬使用後は使用農薬、濃度、使用量を防除履歴として記録、保管する。

春の農作業安全運動実施中（令和6年4月1日～5月31日まで）
「大丈夫」その思い込みに 気を付けて